

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部

「小さな博物館」訪問⑤

「屏風博物館」

「屏風博物館」の館長、また、墨田区のマイスター、

東京都のマイスターでもあります片岡屏風店代表の片岡恭一さんに屏風の歴史、工程、美しさなどのお話を伺いました。

☆屏風店の創業は？

昭和21年に先代(父)が、この墨田区で開業しました。☆屏風の歴史は？

日本における現存の古い屏風は、奈良時代に作られた「鳥毛立女屏風」が正倉院に保管されています。中世では外国への贈答品としても使われました。それは、外国には畳むという文化はないので、日本独特のもの

として喜ばれました。近世では、江戸時代に贅をつくした金地の

屏風が多く作られました。☆屏風の役割は？

屏風は風を防ぐ目的がありました。(風を屏ぐに由来) 枕屏風など、敷かれた布団の角に屏風を置き、頭上の風を防いだ物や、部屋の仕切り、装飾に用いました。数枚つなぎ合わせた大きなものでも、折り畳んで仕舞って置くのでもとても便利で、広げて間仕切りと重宝したのでしょう。

☆材料と工程、構造は？

杉の木を使用し、木枠の骨格を作ります。枠は組子という技法で釘は使わず、上から下から互い違いに組んで作られています。今は接着剤も使用しています。私のところでは、この木枠に和紙を貼っていきます。まず、下貼りをします。(1枚貼ったら乾かすために1日置きます) 大きさによって下貼りを何層(枚)も貼ります。最後に上貼りをします。木枠と木枠は和紙で繋げています。この和紙の貼り方も工夫が凝らされており、上下に貼ってある和紙は短く、中程は長めの和紙を貼る事によって丈夫になり、開閉に耐えられるのです。

☆屏風絵は？

屏風は折った状態で観ることで絵に立体感が出て、正面、左、右と視点を変えられることで絵に変化が生まれます。一般的に目にされる屏風は結婚式の金屏風や3月3日の雛壇の屏風、お茶席の風炉先屏風が多いと思います。最近では思い出の着物や帯、Tシャツ等を屏風にすることもできます。

☆屏風の数え方は？

数は一雙、二雙(双は対になる)、種類は二曲(2つに曲がる)、四曲、六曲、雛飾りの屏風は六曲一雙でした。

☆面白い屏風はありますか？

カラクリ屏風があります。開き方によって4枚の絵が出てきます。また、別のカラクリ屏風は縦に置いたり、横に置く事によって違う絵になります。

☆今後の抱負は？

来年は息子も加わるので、海外に大きく目を向け、進出して行きたいと思っています。今年の秋に台湾で2週間位展示、販売をします。他のすみだものづくりの方と一緒にやりたいと企画しています。

☆取材を終えて

手品のようなカラクリ屏風を体験(10名より予約)で作ることができます。屏風の使い方一つで現代の建築にマッチしていく様子が良くわかり楽しいひと時でした。



は、江戸時代に贅をつくした金地の

住所：墨田区向島1-31-6
電話：03-3622-4470
開館時間：AM10:00～PM5:00
休館日：不定休

皮膚のトラブル

暑くなりました。皆さん、水分補給はこまめにされていますか？

ところでこの時期、「汗」と、冷房による肌の「乾燥」が原因でさまざまな皮膚トラブルが起きやすいです。夏だからこそ、清潔と保湿を心がけて対策を行いましょう。

汗は体温の調節や皮膚の保湿など健康を維持するために重要な働きをしています。汗をかいた後でも、しばらく涼しいところにいると、乾いてサラサラになつてしまうことがあります。目に見えなくても汚れはたまり、細菌が繁殖しやすい状態になつていくのです。表面の塩分の濃度があがって刺激になり、湿疹ができることもあります。清潔に保つためのポイントは、こまめに布やタオルで押さえるようにふきとり、刺激の少ない石けんで体を洗うことです。よく泡立ててから、ごしごしこすらず泡で洗うようにしましょう。汗をかくのでわかりにくいの

ですが、実は皮膚の乾燥にも気をつけなくてはなりません。一日の大半を冷房のきいた低湿度の環境で過ごすことや、強い紫外線を浴びていることで皮膚は乾燥し、細菌や外傷から身を守るバリア機能が低下してしまいます。重要なのは、入浴やシャ

ワーの後、乾燥に気づいた時に、クリームやローションで保湿をすることです。自分の乾燥しやすい箇所を知っているとケアしやすくなります。特に、外気にさらされている頭部、顔、手、足は要注意です。保湿や保護剤は体に合ったものを選び、手のひらで皮膚のきめに沿ってやさしく押さえるように塗ると効果

的です。洗った後は、しっかり保湿。皮膚のトラブルを防ぎながら、この夏を過ごしていきましょう。



手軽にクッキング34 < 7月のチャーハン >

レタスチャーハン (1人分：約399kcal)

<材料2人分>

レタス	1/4個
ご飯	300g
焼き豚	60g
ねぎ	半本
にんにく	少々
卵	1個
塩コショウ	少々
しょう油	少々
ごま油	小さじ1
サラダ油	小さじ1
青シソ	
ミニトマト	



<作り方>

1. レタスは良く洗い、ちぎっておく。
 2. 焼き豚は1cmの角切りにする。
 3. ねぎ、にんにくはみじん切りにし半分ずつ分けておく。
 4. 青シソは刻んでおく。
 5. フライパンにごま油をしき、ねぎ・にんにくの半분을炒めご飯を炒める。
 6. すぐに溶き卵をごはんに絡めるように混ぜ、塩コショウし、しょう油をフライパンのふちに回し入れて混ぜ、火を止める。
 7. 6のご飯をボールに移しておく。
 8. 5のフライパンにサラダ油をしき、残りのねぎ・にんにくと焼き豚、レタスを炒める。
 9. ご飯を戻し、更に炒めて味を調える。
 10. 器に盛り、青シソを散らし、ミニトマトを飾る。
- *レタスのしゃきしゃきの食感をお楽しみください。

(協力：食育支援部)

富士山八合目

大横川 水馬

スカイツリーの展望台に上ると、まず富士山を確認した。その後東京タワーと隅田川の川筋を眺め、自分の住んでいる街を探して、再び富士を見た。

二〇一三年六月二十二日、富士山は世界文化遺産に登録された。この山には思い出がある。

富士山では毎年夏、二つのマラソン大会が行われる。

静岡県側で八月上旬に開催される「富士登山駅伝」と、山梨県側で七月下旬に開催される「富士登山競走」だ。

前者は、御殿場陸上競技場から頂上までの往復十一区間を六人編成で走る。急斜面を転がるようにタスキリレーする激しい競争だから、テレビで見た人も多いだろう。今年で三十八回目。後者は、富士吉田市役所を午前七時三十分スタートし、正午に山頂に到着していなければ失格(近年は三十分早いスタート、ゴールのようだ)。標高差三千メートル、気温差約二十度。



帰りのバスは五合目からの最終便が午後二時だから、下山するにしても、うかうかしているとは山にとり残される。今年で六十六回目を迎える。

今から二十年以上前、私はこの富士登山競走に参加した。第四十回大会だった。

「今年で二度目」という友人二人と、初参加の私。それに、運転手兼サポーターの合計四人が車で早朝墨田区を発った。カロリーメイト、大福餅、羊羹、蜂蜜などを出来るだけたくさん腹に詰め込み、市役所に着いたのは午前七時前だった。

号砲が鳴り、富士浅間神社の横にあるコンクリート舗装の道路を山に向った。針葉樹林帯は湿度が高くて蒸し暑く、汗は蒸発しなかった。皆の顎や肘、ランパンやシャツからは汗の雫がポタリポタリと路面に落ち、白い舗装は大粒の雨の降り始めのように、黒いシミで覆われた。私のお腹は消化不良気味で気持ちが悪かったが、耐えた。

十一キロ走ると「馬返し」に着いた。この辺りから、走る体力と気力は失せ、歩いた。五キロほど登って五合目に着いた。

少しでも平坦地があれば走ってみたが、傍目からは多分、歩いているに等しい状態だったろう。追い抜かれることはあっても抜くことはなかった。徐々に、集団の後方へと離れた。

六合目を経て七合目の山小屋近くになると頭痛が始まった。息が荒い。酸素をうまく体に取込んでないのがよく分かる。これが高山病というものか。意識は前へ前へと進むのだが、体から力が抜けていく。

やっと、「八合目入口」の山小屋に着いた。そこから本八合目、元祖八合目などと続く。一体、どこが本当の八合目なんだ。

涼風の中、うつむいて登っていると正午の時報が山に響いた。見上げれば眼前の黒い岩肌は、切立った断崖の如く大きく立ち、はだかつて行く手を遮っていた。

係員が私のゼッケンに、「八合目」とマジックで書いて、下山を促した。頭痛は治まった。同行の二人は登頂していた。

その後、四度山頂に立ったが、こうして山を眺めていてふと気がつく、視線は山頂の少し下、八合目辺りをさまよっている。

「シニア人材バンク登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動をしています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか？

☆ 墨田区では毎月1日、15日に地域のイベント情報等をパソコンメールで希望者にお送りしています。ご希望の方は、お名前をメールでお知らせください。件名にメルマガ希望と記入してください。

tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp

音訳者養成講座開催!!

視覚障害のある方々に様々な情報を提供する音訳活動に参加しませんか?
墨田区立図書館では、初心者の方を対象に録音図書の作成や対面朗読などの活動をしていただく音訳者を養成するための講座を開催します。ぜひ、ご参加ください。

と き 9月11日～12月4日 毎週水曜日全13回

午前10時～12時

ところ ひきふね図書館 5階会議室

定 員 20名(課題を提出していただき、選考します。)

費 用 無料(※ただし、受講決定者にはアクセント辞典を用意していただきます。)

《申込み・問合せ先》

平成25年8月4日(日)までに、直接又は電話で墨田区立ひきふね図書館まで
墨田区京島1-36-5 電話 5655-2350 障害者サービス担当

編集後記

梅雨明けとともに、連日猛暑が続いています。身体が暑さに慣れていないところだったので、かなり厳しいものです。熱中症に充分気をつけて過ごさなければいけません。

今月末には隅田川の花火大会も開かれます。いよいよ夏本番です。



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168

編集 NPO法人てーねん・どすこい倶楽部
〒131-0044 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(平日午前10時～午後4時)

メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
<http://members2.jcom.home.ne.jp/tehnendosukoiclub/>